

2023年3月9日 第449号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

軍事費より暮らしに税金まわせ！

戦争をさせないための平和外交を！

物価高騰で国民のくらしが大変なのに、大軍拡・大增税に道をひらく予算案の審議が参議院ですすむ中、憲法共同センターは3月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い7団体 19人が参加しました。「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大增税に反対する請願署名」は22人、「憲法改悪を許さない全国署名」は6人が協力してくれました。

全商連の岩瀬晃司副会長は、「10月からインボイス制度が導入されるがこれは増税だ。消費税をさらに上げようとしているが大軍拡のために使われことが危惧される。こんな使い方は反対だ。軍備を増大させることでかえって戦争にまきこまれてしまう」と強調しました。



全労連の前田博史副議長は、政府が巡航ミサイルトマホークを400発購入する

と明らかにしたことについて「日本を守るためと言いながらスピードの遅いトマホークをアメリカから押し付けられている。それはアメリカの軍需産業を潤すだけだ」と指摘しました。

全労連の衛藤浩司常任幹事は、「軍事費を5年で43兆円にするというが、そうなると世界第3位の軍事大国になる。軍事対軍事ではなく戦争させないための平和外交をすすめることが重要」と強調しました。

全国革新懇の矢野裕代表世話人は、「岸田首相は異次元の少子化対策と言うのなら大軍拡の財源をまわすべき。平和で豊かな日本を築いていこう。統一地方選がある。草の根から平和の願いを発信していこう」と呼びかけました。

当面の行動

3月13日(月) 総がかり行動 署名・宣伝行動 18時～ 新宿駅東南口

3月19日(日) 総がかり行動 「19日行動」14時～ 国会議員会館前

3月24日(金) 総がかり行動 予算審議に対応した国会行動 18時30分～ 国会正門前